

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町美術展(公募展)事業				開始年度	21年度		
基本目標	美術館の充実				終了年度	21年度		
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼		評価者	中野 恵一
21年度決算	5	千円	22年度予算	5	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,457 千円		22年度人件費	1,446 千円		事業従事者数	0.20 人	0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域の芸術文化の発信地として、文化活動の場を積極的に提供していく。
事業の内容	今回で第7回目となる公募展。西都・児湯管内の美術愛好者に作品発表の機会を提供するため、無審査制で絵画・写真・書の各部門で計133点を展示。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2 出品数	出品数の増加で、より多くの人々の美術館利用を促す。
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼
	3 募集依頼(何ヶ月前)	制作期間等を考慮した募集時期の設定

◎達成状況

		指標名	単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	観覧者数	目標値	人	1,000	1,000	1,000
		実績値		975	1,186	
		達成率		97.5%	118.6%	
	出品数	目標値	点	120	120	120
		実績値		126	133	
		達成率		105.0%	110.8%	
	0			#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	広報活動数	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率		100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率		100.0%	100.0%	
	募集依頼(何ヶ月前)	目標値	月	4	4	4
		実績値		3	3	
		達成率		75.0%	75.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	地域に根ざした公募展で、作品発表の場を提供。また、美術愛好家の作品を同時に展示することで良い刺激や励みになると思われる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	美術愛好者の制作意欲は素晴らしく、見応えのある作品が多数ある。出品者が増えるにつれ、波及して観覧者も増加傾向にある。実技講座や自主講座の影響で、写真と書部門の出品数が増加し、観覧者数も約2割増加した。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	申込用紙の様式を工夫することで、作品受付時の事務作業量軽減を図った。応募依頼先の新規開拓で応募者の増加が見込まれる。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	審査制を採り、賞を設けるのであれば、町内企業等との連携や実行委員会を組織しての開催・運営が良いと思われる。

事務事業名	高鍋町美術展(公募展)事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	---------------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	底辺の広がりや作品の質の向上が著しい。出品条件の見直しも含めより一層質の高い内容にしたい。審査制や賞については、検討していきたい。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充				○
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎文化の発信基地として、しっかりとした事業を展開し、町民に親しまれる美術館運営を望む。 ◎少ない予算で企画するのは大変だろうが大切な事業である。 ◎公募展の質を向上させるためには、ある程度の経費は必要であろうと判断する。ただし、協賛企業を募り、経費を切り詰める手段も講じてもらいたい。
	コスト	現状維持	